



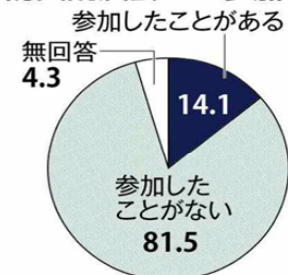
年 組 名前

道新ワークシート

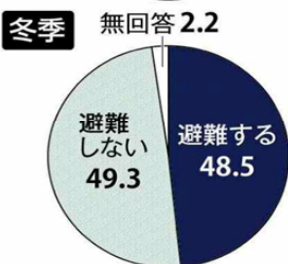
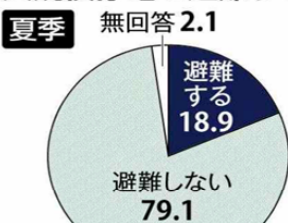
防災訓練参加「ない」8割

過去3年間の防災訓練や防災講演会への参加

※単位は%。回答率は少数点第2位を四捨五入しており、合計が100%にならない場合がある



大地震による大規模停電で避難するか



調査は8月23日～9月6日、無作為に選んだ18歳以上の男女5千人に調査票を郵送して実施。うち2485人(回答率49・7%)が回答した。

過去3年間で防災訓練や防災講演会などに参加したことがあるのは14・1%。年代別では「参加したことがある」が70歳以上で22・3%だったのに対し、29歳以下では7・4%、30～39歳では5・2%と若い世代の不参加が目立った。「今

後参加しようと思う」は46・2%、「参加しようと思わない」は51%だった。

参加しようと思わない理由を尋ねたところ、複数回答で「時間がとれないから」が46・8%、「長時間拘束される」が25・6%、「1人では参加しにくい」が22・6%などで、市は参加しやすい仕組みづくりが求められるそうだ。

災害時の避難行動で、夏季に大きな地震が発生し、自宅の被害がなく、大規模

停電になった場合に避難するかどうかを質問。「避難する」は18・9%で「避難しない」は79・1%だった。

一方、冬季は「避難する」が48・5%と、夏季の2・5倍に。「避難しない」は49・3%だった。

市危機管理対策室は「防災訓練に、現役世代にも参加してもらおう工夫したい。参加できなくても、防災に関する知識を学べるアプリのPRも検討する」としている。

目立つ若い世代「時間ない」

札幌市は30日、防災に関する市民意識調査の結果を公表した。過去3年間で市や町内会などが実施する防災訓練や防災講演会に参加したことがないのは81・5%に上った。全体の半数近くが参加の意思はあるものの、「時間がない」などの理由で参加を見送っているという。

(中村征太郎)

市民意識調査

2019年10月21日(月)夕刊 全道版 1ページ (記事は再編集しています)

- ①札幌市(さっぽろし)が行った防災(ぼうさい)に関する市民意識(いしき)調査(ちょうさ)の結果を記事中から読み取り、に当てはまる数字を書きましょう。
 - (ア)札幌市や町内会が実施(じっし)する防災(ぼうさい)訓練や防災講演会(ぼうさいこうえんかい)に参加したことがない札幌市民は %である
 - (イ)冬季に大地震(だいじしん)が発生し、大規模(だいきぼ)停電になった場合に避難(ひなん)すると答えた札幌市民は %である
- ②札幌市危機管理対策室(さっぽろしききかんりたいさくしつ)は、調査(ちょうさ)の結果を受けてどのような取組をしようとしていますか。2つ答えましょう。
 - ・
 - ・
- ③防災(ぼうさい)に関する市民意識(いしき)調査(ちょうさ)の結果を見て、自分が考えたことを書きましょう。